

平成30年度

特別養護老人ホーム 皆生みどり苑事業計画書

1 基本方針

(皆生みどり苑)

「尊厳の保持」と「自立支援」をケアの基本とし、利用者が健康で安らぎのある主体的生活を送れるよう支援を行うとともに、地域住民との連携強化や情報公開等による透明性の確保に努め、地域に信頼される施設を目指す。

2 今年度重点事業目標

(1) 重度者ケアの充実

ア 認知症ケアの研修を開催し職員の専門性を高める。また、長谷川式簡易評価スケールを実施して利用者の認知機能を把握し、一人ひとりに合った個別ケアを提供する。

イ 多職種間での情報共有を徹底し円滑な連携を図るとともに、配置医師との密な連携を図り、安心安全な医療的ケアを実施する。また、緊急時、急変時の医師との連携対応を明確化し、迅速な対応を図る。

ウ 本人、家族の希望に沿ったターミナルプランを作成し、穏やかな最期を迎えられるように多職種で連携してターミナルケアを提供する。

(2) やまと園との連携による効率的かつ効果的な経営

ア 定期的に連絡会を開催して密な連携を図り、研修会や行事等の運営面の一体化と、相談室・会議室や地域交流ホール等の設備面の共用化による効率的な運営を行う。

イ 物品購入や業務委託契約を共同で行い、事務処理の簡素化及び経費削減を図る。

ウ 地元自治会やボランティア等との関わりを協力して行い、一体的に交流を図る。

(3) 共生社会に向けた基本方針の見直し

ア 社会福祉法人として地域貢献が求められる現状を鑑み、高齢者福祉を基本としつつ共生社会の理念を加味した基本方針に改定する。

(4) 経営改善・基盤の確立

ア 高稼働率の維持に努める。

①入所年間平均98%以上、短期入所41%以上を確保する。

②欠員期間短縮（10日以内の欠員補充を継続）。

イ 介護報酬改定に伴う各種加算取得の検討。